



苦野一徳（とまの・いっとく）氏

哲学者・教育学者。熊本大学教育学部准教授。

早稲田大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士（教育学）。

著書に『どのような教育が「よい」教育か』（講談社）、『勉強するのは何のため？』（日本評論社）、『教育の力』（講談社現代新書）、『「自由」はいかに可能か』（NHK出版）、『子どもの頃から哲学者』（大和書房）、『はじめての哲学的思考』（筑摩書房）、『「学校」をつくり直す』（河出新書）、『ほんとうの道徳』（トランスビュー）、『愛』（講談社現代新書）、共著書に『公教育をイチから考えよう』（日本評論社）、『問い続ける教師』（学事出版）、『学校は、何をするとところか』（中村堂）、『みらいの教育』（武久出版）などがある。学校法人軽井沢風越学園理事。



飛田 洋（とびたひろし）氏

現在、宮崎大学 客員教授、「教育に新聞を」宮崎県NIE推進協議会会長、環境省環境カウンセラー、宮崎県環境保全アドバイザー、高次脳機能障がい宮崎県家族の会「あかり」事務担当。

1952年生まれ。宮崎県新富町（出生時は富田村）出身。

宮崎県立高鍋高校、鹿児島大学理学部卒業。山之口中学校、高原畜産高校（現在小林秀峰高校に統廃合）、宮崎西高校、小林高校で理科（生物）の教師として勤務。以後、宮崎県教育研修センター、宮崎県教育庁学校教育課・政策課、宮崎大宮高校の校長、宮崎県教育委員会教育次長などを経て、2012年宮崎県教育委員会教育長に就任。2016年宮崎県立美術館館長、2019年6月より現職。宮崎大学 客員教授。



川越 雅彦（かわごえまさひこ）氏

小学校教員。宮崎大学教育学部発達心理学専攻

宮崎大学教職大学院生徒指導・教育相談コース専修

特別支援教育コーディネーター、市就学指導委員を歴任

教育研究団体 TOSS に所属し、10年近く教員や保護者との勉強会を毎月開催。「どの子ども大切にされなければならない。一人の例外もなく。」を合言葉に教育活動を行っている。新卒1年目に、教育研究団体 TOSS と出会い教師修業をスタートさせる。「万策尽きるまで」恩師にいただいた言葉である。教師の無知によって傷つけられてきた数多くの困っている子を見捨てることなく、子どもを信じて、やり抜く。学び続けることが子どもの、教師の笑顔につながるので毎月、教師仲間・保護者とともに自主サークルを開催して15年になる。

主催 イエナプラン教育研修会実行委員会

共催 子育て応援ユニット「チーム宮崎県」

後援 宮崎県教育委員会、宮崎市教育委員会（予定）

協力 NPO法人みやざき教育支援協議会、（一社）みやざき公共・協働研究会
南宮崎レインボー教室、南宮崎ふれあいサロン、ライフプランニング、有限会社サン・グロウ
放課後等デイサービス学遊館つねひさ・おおよど

■チケット 南宮崎ふれあいサロンその他協力機関で販売中。

■お問い合わせ先

イエナプラン教育研修会実行委員会事務局

有限会社サン・グロウ 放課後等デイサービス学遊館おおよど内

担当 濱門（はまかど）

Tel0985-64-9500 info@sungrow.co.jp